

少し早目のクリスマスパーティー

平成30年11月15日（木曜日）18時30分より

リッツカールトン大阪

出演	ソプラノ	高嶋優羽さん 中川京子さん 丸山晃子さん
	メゾソプラノ	井川裕子さん
	テノール	中川正崇さん
	バリトン	迎肇聡さん
	ピアノ伴奏	高島春樹さん 大原亜樹子さん
	司会	奥野真代さん

～ウエルカムミュージック～

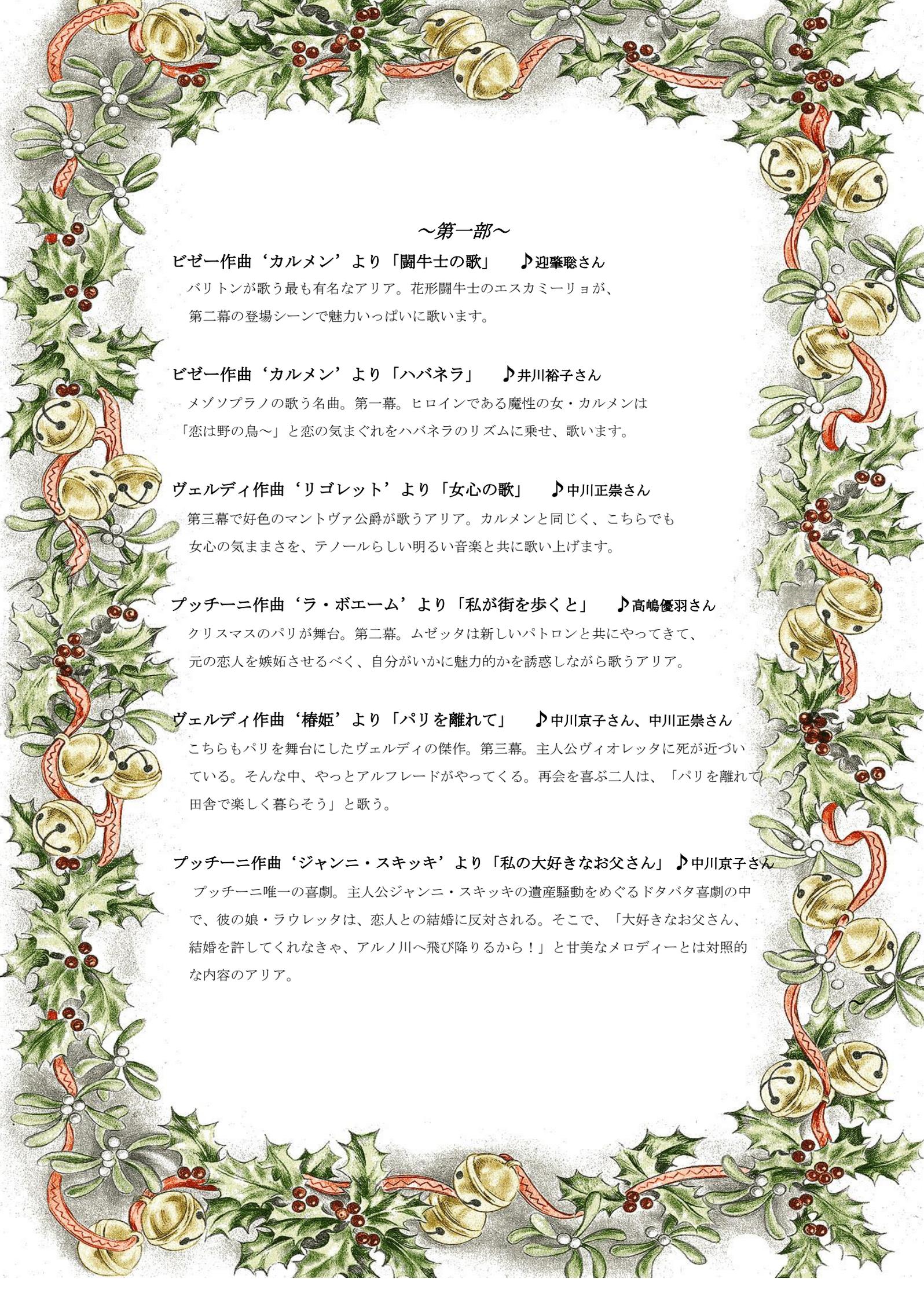
「クリスマスソング」 ♪丸山晃子さん

～オープニング～

「春の声」 ♪高嶋優羽さん

～ご挨拶～

～乾杯～



～第一部～

ビゼー作曲 ‘カルメン’ より「闘牛士の歌」 ♪ 迎肇聡さん

バリトンが歌う最も有名なアリア。花形闘牛士のエスカミーリョが、第二幕の登場シーンで魅力いっぱいに歌います。

ビゼー作曲 ‘カルメン’ より「ハバネラ」 ♪ 井川裕子さん

メゾソプラノの歌う名曲。第一幕。ヒロインである魔性の女・カルメンは「恋は野の鳥～」と恋の気まぐれをハバネラのリズムに乗せ、歌います。

ヴェルディ作曲 ‘リゴレット’ より「女心の歌」 ♪ 中川正崇さん

第三幕で好色のマントヴァ公爵が歌うアリア。カルメンと同じく、こちらでも女心の気ままさを、テノールらしい明るい音楽と共に歌い上げます。

プッチーニ作曲 ‘ラ・ボエーム’ より「私が街を歩くと」 ♪ 高嶋優羽さん

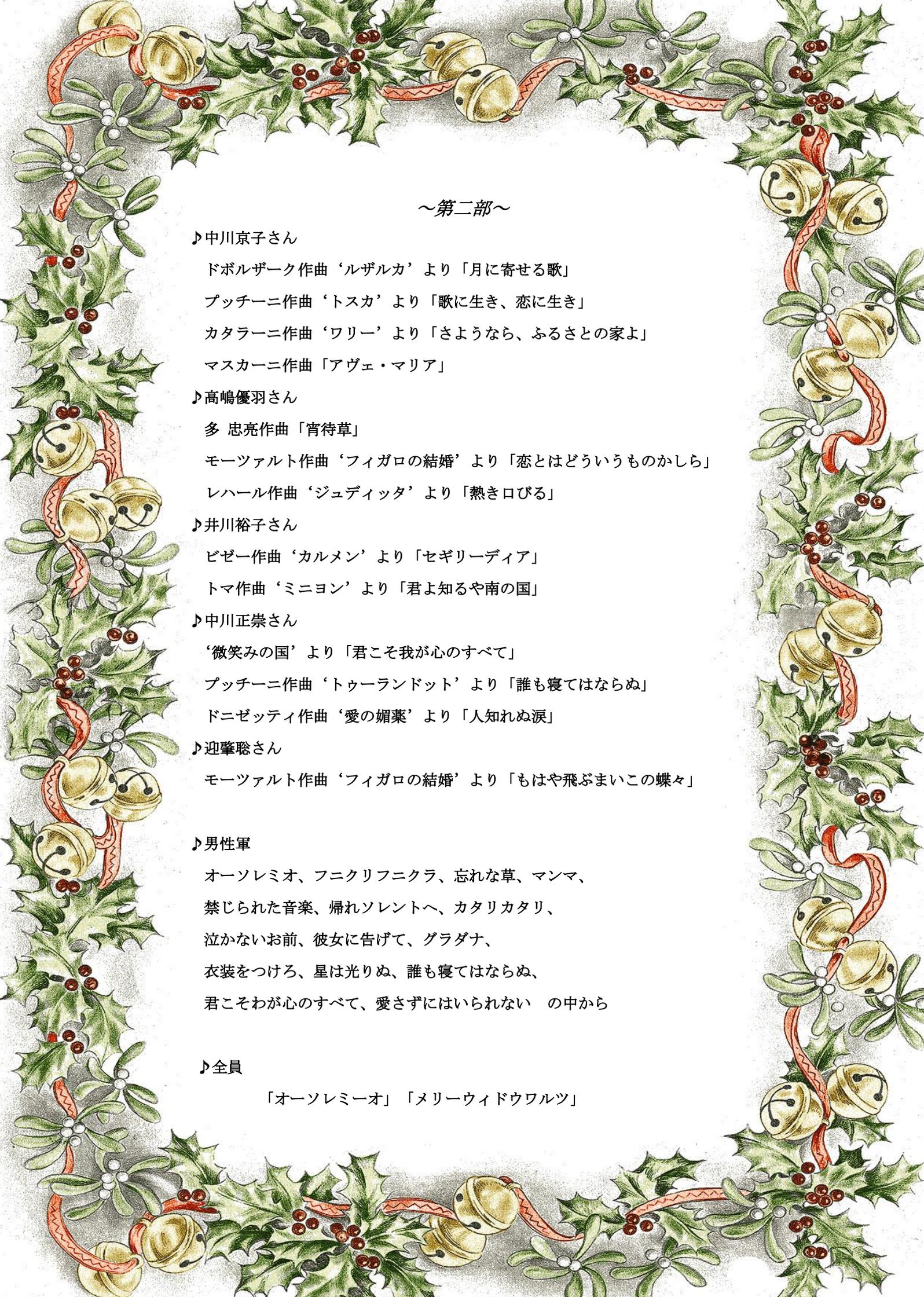
クリスマスのパリが舞台。第二幕。ムゼッタは新しいパトロンと共にやってきて、元の恋人を嫉妬させるべく、自分がいかに魅力的かを誘惑しながら歌うアリア。

ヴェルディ作曲 ‘椿姫’ より「パリを離れて」 ♪ 中川京子さん、中川正崇さん

こちらもパリを舞台にしたヴェルディの傑作。第三幕。主人公ヴィオレッタに死が近づいている。そんな中、やっとアルフレードがやってくる。再会を喜ぶ二人は、「パリを離れて田舎で楽しく暮らそう」と歌う。

プッチーニ作曲 ‘ジャンニ・スキッキ’ より「私の大好きなお父さん」 ♪ 中川京子さん

プッチーニ唯一の喜劇。主人公ジャンニ・スキッキの遺産騒動をめぐるドタバタ喜劇の中で、彼の娘・ラウレッタは、恋人との結婚に反対される。そこで、「大好きなお父さん、結婚を許してくれなきゃ、アルノ川へ飛び降りるから！」と甘美なメロディーとは対照的な内容のアリア。



～第二部～

♪中川京子さん

ドボルザーク作曲 ‘ルザルカ’ より「月に寄せる歌」

プッチーニ作曲 ‘トスカ’ より「歌に生き、恋に生き」

カタラーニ作曲 ‘ワリー’ より「さようなら、ふるさとの家よ」

マスカーニ作曲「アヴェ・マリア」

♪高嶋優羽さん

多 忠亮作曲「宵待草」

モーツァルト作曲 ‘フィガロの結婚’ より「恋とはどういうものかしら」

レハール作曲 ‘ジュディッタ’ より「熱き口びる」

♪井川裕子さん

ビゼー作曲 ‘カルメン’ より「セギリデーア」

トマ作曲 ‘ミニヨン’ より「君よ知るや南の国」

♪中川正崇さん

‘微笑みの国’ より「君こそ我が心のすべて」

プッチーニ作曲 ‘トゥーランドット’ より「誰も寝てはならぬ」

ドニゼッティ作曲 ‘愛の媚薬’ より「人知れぬ涙」

♪迎肇聡さん

モーツァルト作曲 ‘フィガロの結婚’ より「もはや飛ぶまいこの蝶々」

♪男性軍

オーソレミオ、フニクリフニクラ、忘れな草、マンマ、

禁じられた音楽、帰れソレントへ、カタリカタリ、

泣かないお前、彼女に告げて、グラダナ、

衣装をつける、星は光りぬ、誰も寝てはならぬ、

君こそわが心のすべて、愛さずにはいられない の中から

♪全員

「オーソレミーオ」「メリーウィドウワルツ」

